

OTOWA カップ 第32回 関東女子ラグビーフットボール大会
Supported by アミノバイタル 大会実施要項（一般の部）

1. 名 称 OTOWA カップ 第32回関東女子ラグビーフットボール大会 Supported by アミノバイタル（一般の部）

2. 趣 旨

- (1) 関東地区における女子ラグビーチームの交流と、15人制ラグビーのレベルアップを図る。
- (2) 第8回全国女子ラグビーフットボール選手権大会の出場チーム及び順位を決定する。

3. 主 催 : 関東ラグビーフットボール協会

4. 主 管 : 関東ラグビーフットボール協会女子委員会

5. 協 力 : 茨城県ラグビーフットボール協会
神奈川県ラグビーフットボール協会
千葉県ラグビーフットボール協会
東京都ラグビーフットボール協会

6. 冠協賛 : 株式会社オトワ

7. 商品協賛 : 味の素(株)スポーツニュートリション部

8. 出場予定チーム

(プール A)

- ① Brave Louve
- ② RKU グレース
- ③ 横河武蔵野 Artemi-Stars
- ④ 日本体育大学ラグビー部女子

(プール B)

- ⑤ 《PTS 立正》 ARUKAS KUMAGAYA, 立正大学女子ラグビー部, 自衛隊体育学校 PTS
- ⑥ 東京山九フェニックス
- ⑦ 《合同 A》 YOKOHAMA TKM, 国際武道大学女子ラグビー部, 弘前サクラオーバルズ

9. 日程・組み合わせ・会場

【予選プール】

(1) 12月12日(日) 府中朝日G

11:30 ① 対 ②

14:00 ③ 対 ④

(2) 12月12日(日) 麗澤大学G

13:00 ⑤ 対 ⑥

(3) 12月26日(日) 府中朝日G

11:30 ① 対 ④

14:00 ⑤ 対 ⑦

(4) 12月26日(日) 流通経済大学第2G ※無観客試合

13:00 ② 対 ③

(5) 1月8日(土) 横河武蔵野G ※無観客試合

11:30 ⑥ 対 ⑦

14:00 ① 対 ③

(6) 1月8日(土) 日本体育大学G

13:00 ② 対 ④

【5-7位決定戦】

(7) 1月15日(土) 日本大学G

11:00 プールA 3位 対 プールB 3位

11:55 プールA 4位 対 プールB 3位

12:50 プールA 3位 対 プールA 4位

【決勝トーナメント】

(8) 1月15日(土) 八王子市上柚木陸上競技場

11:30 プールA 2位 対 プールB 1位

14:00 プールA 1位 対 プールB 2位

10. 参加資格

(1) チームについて

関東圏内における所在地を管轄する各都道府県協会に登録しているチームまたはチームにより構成された合同チームであること。

(2) 選手について

- 所在地を管轄する各都道府県協会に登録している2003年4月1日以前に生まれた女子選手とする。
- 本大会を通じて同一選手の異なるチームでの出場は認めない。

(3) その他

- スポーツ安全保険に加入していること。

1 1. 競技規則

(1) 2021 年度版 World Rugby 競技規則（ならびに一部服装については、平成 30 年改訂版競技規則（タグラグビー、U-12 ミニラグビー、U-15 ジュニアラグビー、19 歳未満 国内高専・高校以下用）にて実施する。

(2) 試合時間

40 分ハーフ、ハーフタイムは 12 分以内とし、ロスタイム制にて実施する。

(3) 15 人制の大会として実施し、試合当日の選手の登録は、23 名以内とする。

各チームは、試合前にレフリーにフロントロープレーヤーとその交代要員を知らせなければならない。フロントローの各プレーヤーおよび交代の可能性のある要員は、適切に訓練され、かつ、経験のあるプレーヤーでなければならない。

(4) スコッドの人数

2021 年度版 World Rugby 競技規則 第 3 条-(8)および(9)に則って実施する。

スコッドの人数	スコッドにおけるフロントローの最低人数	最初の交替のとき、以下と交替できる者であること
15名、または、それ未満	3名	-
16～18名	4名	プロップ、または、フッカーのどちらか
19～22名	5名	プロップとフッカーの両方
23名	6名	ルースヘッドプロップ、タイトヘッドプロップ、および、フッカー

(5) 選手の入替及び交代、大会が用意した入替／交替カードに必要事項を記入しマッチオフィシャルまたは、競技役員に提出し、レフリーの指示に従って行うものとする。

(6) 19 歳未満（上記【10. 参加資格】を持つ 18 歳）の選手はヘッドギアならびに、マウスガードの着用を義務とする。

1 2. 競技方法

(1) 試合人数：15 人制

(2) 予選プールと決勝トーナメントの組み合わせで順位を決定する。

(3) 順位の決定

試合終了毎に、勝点（勝ち：4 点、引き分け：2 点、負け：0 点）を与え、全試合終了時の勝点総計に基づいて順位を決定する。勝点が高数の場合は、次の順序で順位を決定する

※ 不戦勝チームは勝ち点「4」、不戦敗チームは「0」とする。

※ ボーナス点として以下の勝ち点を与える。

- ・負けても 7 点差以内ならば、勝ち点「1」を追加。
- ・勝敗に関係なく、3 トライ差以上のトライを獲得したチームに、勝ち点「1」を追加。

① 試合終了時に勝点が高数の場合は、得失点差の多いチームから上位とする。

② 得失点差が高数の場合は、トライ数の多いチームから上位とする。

③ 得失点差が高数でトライ数も同じ場合は当該チーム同士の勝敗にて決定する。

④ トライ数が高数場合には、トライ後のゴール数の多いチームを上位とする。

※ペナルティトライ後のゴールキックは成功とカウントする。

⑤予選プールにおいて上記全てが同じ場合には、抽選で順位を決めることとする。

⑥5-7位決定戦において上記全てが同じ場合には、同率5位とする。

⑦決勝トーナメントにおいて試合終了後に同点の場合は、以下の各号の順序により勝利チームを決定する。

I トライ数の多いチームから上位とする。

II トライ数が同じ場合には、トライ後のゴール数の多いチームを上位とする。

※ ペナルティトライ後のゴールキックは成功とカウントする

III 上記全てが同じ場合には、キッキングコンペティションにより順位を決定する。

(a) 試合終了後すぐにコイントスを行い、トスの勝者が先攻・後攻を決める。

(b) 試合終了時にフィールドプレーヤーとして競技区域にいた選手から5名が試技に参加できるが、怪我などを含む入れ替えによって退いた選手、並びにシンピンを含む退場を命じられた選手は試技に参加することができない。

(c) チームは5名の選手と試技順をあらかじめレフリーに申請しなければならない。

(d) 試技は、試合終了から5分後に開始する。

(e) キッカーに選出された5名はハーフウェイラインで待機をする。キッカー以外の選手およびチームスタッフは、競技区域外(チームベンチ付近)で待機をする。

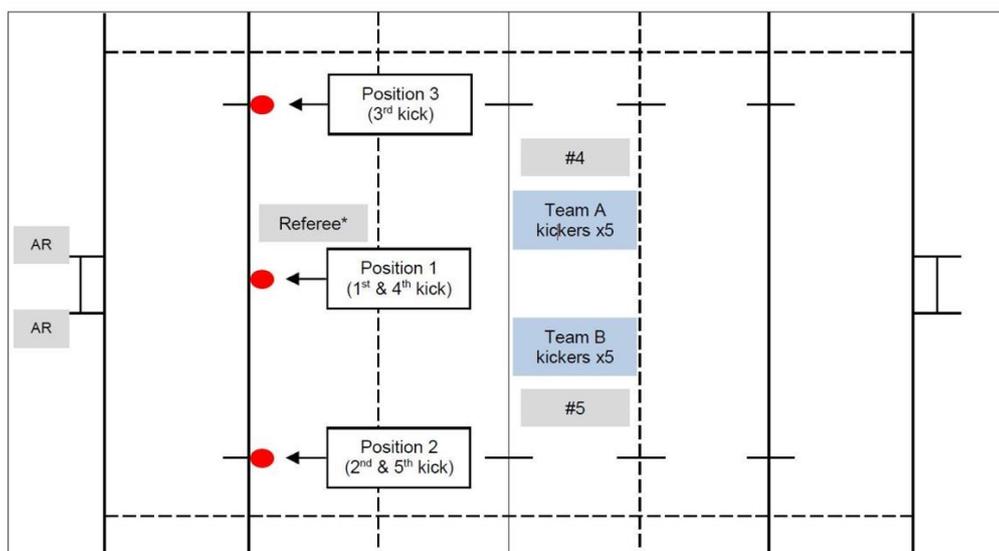
(f) 両チームは 22メートルラインより後方の3箇所のエリアから、レフリーに申告した選手の順番に従って、両チーム交互にキックを行う。各チーム5名の選手の順番に従い、エリアは下記のように定める。

第1・第4エリア： ゴール真正面

第2・第5エリア： ゴールに向かって左側、15mライン上

第3エリア： ゴールに向かって右側、15mライン上

(g) 5人目までの試技で同点となった場合は、抽選により順位を決定する。



⑧全国選手権への推薦順位は決勝トーナメントにおける勝点および得失点差を対象とし、(キッキングコンペティションの成功はカウントしない)、予選プールの結果は対象としない事とする。また、勝利した2チームの勝点および①-③すべてが同じ場合には、両チーム優勝とし、抽選で全国選手権への推薦順位を決めることとする。

- (2) アジア・ラグビーフットボール協会加盟国協会の国籍を有するものは、外国籍選手登と同時に「アジア枠」として登録することができる。
- (3) 選手としてアジア枠でフィールドオブプレーに入ることができる選手は、1名を限度とする。
- (4) アジア枠選手1名を除く外国籍選手は、試合へのエントリー人数は制限を設けないが同時出場は3名までとする。

16. 参加費 1チームにつき 15,000円

17. 表彰

- 毎試合で1名、MIP (Most Impressive Player) を選出する。
- 優勝チームを表彰する。
- 大会最優秀選手 MVP (Most Valuable Player) を1名選出する。

18. 試合当日の練習場所

当日の練習場所は各会場にて指定されたウォーミングアップ場を使用し注意事項に従うこと。

19. テクニカルゾーン

- 試合会場に応じて実行委員会において随時定める。
- 競技区域内に入ることができるスタッフは、チームドクター・メディカルスタッフ2名・給水係5名とし、キックティ係は給水係が兼務する。いずれも所在地を管轄する各都道府県協会へ登録している者が任を務める事とする。

20. プレマッチミーティングについて

- (1) 第1試合は試合開始80分前、第2試合は第1試合のハーフタイムに実施する。
5-7位決定戦のプレマッチミーティング実施時刻は、大会マニュアルに記す。
- (2) 参加者は各試合のマッチコミッショナー、記録責任者、チーム代表者、レフリーとする。
- (3) プレマッチミーティングでは、以下の事項を確認する。
 - 出場登録選手の最終確認
 - 時計の同期
 - レフリーからのブリーフィング、ドレスチェック、コイントス時間及び場所の確認
 - その他、競技運営に関する留意事項を確認

21. チームの会場への入場について

- (1) 大会開催時点の新型コロナウイルス感染状況により試合会場に入場できるチーム関係者数、有観客などを検討し、参加チームへ連絡する。

22. その他

- (1) 試合当日のロッカールームの割付、タイムスケジュール、会場における留意事項などは、関東協会から連絡する。
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策については、別途定めるガイドラインに従うこと。

- (3) 悪天候による当日の試合の開催可否判断について。マッチコミッショナー・マッチオフィシャルの判断により、両チーム、ならびに関係者（グラウンド管理者等）と協議の上決定する。試合の中止が決定した場合は引き分けとする。
- (4) ハーフタイムまたは後半途中で試合が中断し、再開することが出来ないと判断された場合、その時点で試合は成立したこととする。
- (5) 前半途中で試合が中断し、そのまま再開出来ない場合、引き分けとする。

※試合再開の目処は遅くとも試合中断後60分後を目安とする。またその判断は試合中断、30分以内を目途とする。

※関東協会女子委員会は新型コロナ ウイルス感染症状況によって大会・試合の中止・延期の決定する場合がある。

大型台風等々、試合の開催に様々な危険をもたらす恐れがある場合は、関東協会女子委員会にて試合開催可否を判断する場合がある。